

令和5年度 第5回常任理事会 議事録

日 時 令和5年9月16日(土) 10時00分

場 所 北海きたえーる研修室

出席者 印藤智一、丸山道博、家近昭彦、齊藤幸治、
浅野泰弘、石崎 賢、川崎尚子、笹森恭之、
多田吉宏、佐見洋治、辻井淳一、坂本雅春
(議事録)

<進行：笹森常任理事>

1 開 会

議事録署名人に印藤理事長の外、笹森常任理事、坂本常任理事が指名された。

2 理事長あいさつ

本日は午後Vリーグチームも参加しての理事会、渋谷副会長のJVA功労者表彰も予定している。また、協会法人化に向けての動きや協会規約の一部改正、Vリーグチームとの業務委託契約等、重要な案件があるので、今回も活発な議論をお願いします。

3 協議事項

(1) 第2回理事会の開催について

各担当から、以下の説明がなされ、理事会に提案することが「承認」された。

① 法人設立スケジュールと準備業務の委託契約について

・協会法人化に向けてのポリシーとビジョンの共有化について(印藤理事長)

資金・財務管理、収入確保、人材育成、加盟団体との連携強化を4本の柱とし、資金・財務管理においては、基金の適正管理や不正防止を図るため、公認会計士等との契約をはじめ、不正しづらい仕組みを構築することや、「収入確保」では、Vリーグホームゲームの業務受託や国際大会の誘致など、基金に頼らない財源確保の実現を目指す。

これらの課題改善を進めながら、「人材育成」や「加盟団体との連携強化」による選手等の強化や地区協会のニーズへの対応に繋げていく。

・法人設立スケジュール(坂本総務副委員長)

行政書士に助言をいただきながら作成したスケジュールに基づき進めていきたい。安定移行のためには現団体の解散と新法人の設立を同時に進める必要がある。

・準備業務の委託契約について(斎藤副理事長)

法人設立スケジュール沿って準備を進めるに当たり、定款や書類作成、設立登記に伴う業務については、専門的な知識を持つ行政書士事務所に委託する。

(質疑)

・道協会の法人化により、加盟団体等の税務処理等はどうなるのか。

⇒法人化するの道協会であり、加盟団体が、直接、税務処理等を行う必要はない。今回提案する「各地区協会及び加盟団体との意見交換会」においても、法人化の意義等を、丁寧に説明していく。(齊藤総務委員長)

② 北海道バレーボール協会規約の一部改正について(齊藤総務委員長)

現協会から新法人への移行のため、現協会の解散及び清算に伴う残余財産の帰属に関する規

定を整備する必要があることから、規約を改正するもの。

規約改正は、評議員会の議決事項であることから、施行期日を令和6年度定時評議員会の決議の日として提案する。

③ Vリーグチームとの業務委託契約について（齊藤総務委員長）

デンソーエアリービーズ、ヴォレアス北海道、北海道イエロースターズ、アルテミス北海道のホームゲームの大会運営について、業務委託契約を締結する。

委託期間は、令和5年9月17日から令和6年3月31日までとし、チーム共通基準費や業務委託費により委託料を定める。

2023・24シーズンのホームゲーム開催日程表が資料配付された。

④ 高校選手権大会北海道代表決定戦の開催について（石崎競技委員長）

・11月15日（水）～18日（土）に、北海きたえーるで開催する。

コロナ対応については、基本的に撤廃し、コロナ禍前の体制で開催したいと考えている。

⑤ 各地区協会及び加盟団体との意見交換会の開催について（齊藤総務委員長）

・前回の常任理事会において、9月16日に開催する旨説明していたが、評議員にも参加を求めたこととしたことから、理事会の承認を得たうえで、12月9日（土）に開催日を変更して開催する。（齊藤総務委員長）

4 報告事項

(1) 日本協会関係（印藤理事長）

・代表委員総会が開催され、強化関係では、OQTが始まり、現在、全日本男子はアジア1位、FIVBは5位、女子はアジア2位、FIVBは8位と好調で、パリ五輪出場権の獲得が期待される。

・暴力体罰ハラスメント撤廃アクションの継続について依頼がなされた。

(2) 各委員会関係

・総務委員会（齊藤総務委員長）

本日午後からの理事会の開催前に、Vリーグチームの紹介と渋谷副会長のJVA功労者表彰伝達式を執り行う。

次回常任理事会は10月/21日（土）の10時から、北海きたえーる研修室にて開催。同日、令和5年度中間監査も実施するので、各委員長は主事等の出席について配慮願う。

・競技委員会（石崎競技委員長）

天皇杯・皇后杯ブロックラウンドが小樽協会主管で余市体育館にて開催された。

男子はヴォレアス北海道、女子はアルテミス北海道がファイナルラウンド進出を果たした。

・審判委員会（川崎審判委員長）

学連や中体連、小連で実施した講習会で資格を取得した方の連絡がつかず更新されないことが多いため、今後は地区協会への登録もするようにする。

・強化委員会（家近副理事長）

国体少年の強化では、男子は道外チームを招待して実施。女子はヴォレアス北海道のプレシーズンマッチで、観客を前にJOCチームと練習マッチを実施する。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

ジュニアキャンプ50周年の式典を実施し、記念誌も発行した。

指導者養成講習では、コーチ1に54名の受講があったほか、道公認コーチの講習会を15地区協会で開催いただいた。

・加盟団体

（中体連 佐見常任理事）

全道中体連について、他競技も含め赤字運営となっており、参加費の増額が検討されている。開催地の受け手も少なく、大規模体育館を有する都市で回すことも検討されている。

(小連 多田常任理事)

日本協会からの報告でもあったが、日本小学生バレーボール連盟からは、暴力はないが、暴言についての報告がなされている。

(高体連 石崎常任理事)

全国インターハイが無事終了し、感謝申し上げる。次年度の全国大会出場枠は、男女各1チームになる。

5 その他

・デンソーエアリービーズのアカデミーが札幌市で開催される。各方面から案内いただくよう協力を願う。指導者単独の参加も可能なので、希望者は理事長まで連絡願う。(印藤理事長)

・JVAが進める暴力暴言撤廃アクションについて、各種大会のプログラムに掲載するなどして、道協会としても取組みを進めてはどうか？(丸山副理事長)

➡ 理事会にも報告したうえで、JVAから啓発用チラシを提供してもらうよう調整する。(印藤理事長)

6 閉 会

【次回：令和5年10月21日(土)10時～ 北海きたえーる】

議事録署名人

理 事 長

印藤 智一

議事録署名人

篠原 恭之

議事録署名人

坂本 雅春